

令和8年度富山市交通安全対策協議会総会 議事概要

- 1 日 時 令和8年5月28日（木） 午後2時から
- 2 場 所 富山市役所 東館8階 大会議室
- 3 出席者 委 員：別紙出席者名簿のとおり

事務局：清水防災危機管理部次長、川崎危機管理課長、山田危機管理課主幹、中村危機管理課主幹、出島危機管理課副主幹

4 内 容

（1）本協議会における役職、部会構成について

事務局：協議会会則に基づく会長指名により、各交通安全協会の会長に副会長をお願いする。また、交通安全運動、交通安全教育、高齢者事故防止の各部会は委員名簿にあるとおり構成するものとし、◎の付してある3名には、各部会長をお願いする。

（2）稲田副会長挨拶

（3）議 事

報告案件

- ①最近の交通事故状況について（中央警察署交通官が説明）
- ②令和8年度富山市交通安全実施計画について
- ③交通安全富山市民大会について

（4）主な質疑等

【横断歩道について】

委 員：横断歩道の街路灯の角度がずれていて見えないという話をしたところ、すぐに対応してもらい感謝している。交差点は、スピードが出ていると非常に危険が多い場所であると思っている。地域から横断歩道に歩行者用の信号をつけてほしいという要望があるところなどは、対応をお願いしたい。

【通学路の安全確保について】

委 員：市から黄色い安全帽子を新1年生に配布してもらい感謝している。この黄色い帽子のおかげで子どもたちは安全になっていると感じている。通学路では民家から木がはみ出し、それを避けるため、車道に膨らんで歩いてしまう箇所がある。また、歩道が狭い所や白線が消えている所も多くある。学校やPTAでは旗を持って交通安全に努めている。富山市通学路交通安全プログラムに基づいて、危険箇所は迅速かつ計画的に対策を進めてほしい。地域の見守り隊の高齢化や隊員の減少という点も懸念している。今後は人材確保についても考えてほしいと思う。

※発言内容を一部整理して掲載しています。